

授業科目 生活構造論Ⅱ

【担当教員名】 米林 喜男	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
患者・障害者を「生活者」としてとらえ、その生活の全体構造を、①家族・親族、②地域社会との関係を重視しつつ分析する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 患者・障害者の生活構造と、家族構造、地域社会構造との関連を理解する。
2. 患者・障害者の生活問題と、家族問題・地域社会問題との関連を理解する。
3. 患者・障害者の生活問題と、保健・医療・福祉問題との関連を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号
1	患者・障害者を生活者としてとらえる意義を理解する。	講義受講（受講者が少なければ 討論も行う） 読書、事例調査など自主学習 （慢性・難治性疾患患者および その家族の生活記録等）
2	疾病・障害と生活との関係を理解する。	
3	疾病・障害の重度化と生活問題・生活課題の変化との関連を理解する。	
4	事例研究とは何かについて理解する。	
5	主要な慢性・難治性疾患患者および心身障害者とその家族について、事例研究を行う。	
6	〃	
7	〃	
8	〃	
9	〃	
10	〃	
11	〃	
12	〃	
13	〃	
14	〃	
15	まとめ	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特定のものを使用しない。			
参考書	随時紹介する。			
その他の資料	必要に応じて印刷教材を配布する。			

【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。	【履修上の留意点】 患者・障害者およびその家族の生活記録を読み、自主的に事例研究をしてほしい。
-------------------------------------	--

社会福祉学科 専門